

教科（科目）	家庭基礎	単位数	2	学年（系）	4 学年
使用教科書	新家庭基礎 今を学び 未来を描き 暮らしをつくる（教育図書）				
副教材等					

1 学習目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

2 指導の重点

- ・将来、自立し生活するために必要不可欠な基礎的・基本的な知識・技術を身につけさせる。
- ・調理・被服実習などの体験的な学習や調べ学習を通して、社会のさまざまな現象についてより深い理解と関心を高め、自分らしい生き方を考えさせる。

3 指導計画

月	単元名	教材	学習活動（指導内容）	時間	備考
4	キャリア教育 家族		第1章 青年期と家族 1 これからの人生に向かって 2 家族って何だろう？		
5 6 7	被服 住生活		第5章 衣生活 1 なぜ服を着るの？ 2 私たちが着ているもの 3 衣服の管理を学ぼう 4 これからの衣生活 第6章 住生活 1 私たちが暮らす場所 2 安全・安心な暮らし 3 つながって暮らす 4 これからの住まいを考える		
9 10 11	食		第4章 食生活 1 食生活を見つめよう 2 私たちが食べているもの 3 安全・安心な食品を選ぼう 4 献立と調理 ・調理実習		
12	高齢化社会		第3章 高齢期 1 高齢期ってどういう時期？ 2 高齢化する日本を生きる 3 高齢者を支える		
1 2	保育 経済生活		第2章 保育 1 子どもの成長を見つめる 2 子どもの世話をしてみよう 3 子どもを取り巻く環境 第7章 消費生活・環境 1 何をどうやって買う？ 2 かしこい消費者になろう 3 暮らしと経済のかかわり 4 環境について考えよう		

3	ライフプラン 課題解決学習		第8章 生活設計 1 目標をもって生きよう！ ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動		
---	------------------	--	---	--	--

計 70時間 (48分授業)

4 課題・提出物等

授業で制作した物、指示があった物は必ず提出してください。

5 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	思考・表現・判断	資料技能の活用	知識・理解	評価規準
人の一生や家族・家庭・地域・社会との関係に関心を持ち、個人として自立することをめざし、意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけようとする。	自分や家族・家庭・地域の生活にかかわる課題を見つけ、課題解決のため思考を深めて、工夫したり創造したりし、自分の考えをまとめ、判断できる。	自立した生活を送るために必要不可欠な基礎的・基本的な技能を身につけている。	自分や家族・家庭、地域社会の役割を理解し、それらの充実にむけて必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。	<評定> 各観点の合計点達成率 5…80%以上 4…70%以上 3…50%以上 2…40%以上 1…40%未満
以上の観点を踏まえ、授業への取り組み（授業態度、学習活動への参加状況）、提出物の内容、作品、定期考査などから総合的に評価する。				

6 担当者からの一言

家庭基礎をとおして、将来の社会生活に必要な知識を身につけましょう。